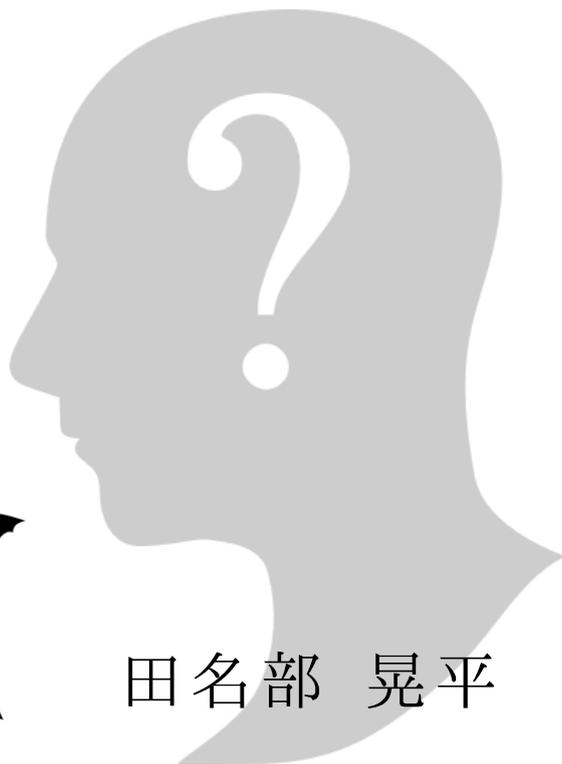




わたしたちの
あたまのなか



田名部 晃平



『まなざしのデザイン』
:「世界の見方」を変える方法』
(工学分館 518.8/686)

『風景にさわる』
:ランドスケープデザインの
思考法』
(工学分館 518.8/678 ほか)

『思考としてのランドスケープ
地上学への誘い:歩くこと、
見つけること、育てること』
(工学分館 518.8/693)

『建築と言葉』
:日常を設計するまなざし』
(工学分館 520.4/204)

『環境ノイズを読み、
風景をつくる』
(工学分館 518.8/536)

『ワインスケープ』
:味覚を超える価値の創造
=Winescape』
(工学分館 518.8/692 ほか)

『小さな風景からの学び』
:さまざまなサービスの表情』
(工学分館 520.4/222 ほか)

『つくること、つくらないこと』
:町を面白くする11人の会話』
(工学分館 518.8/563)

『つなく』
:環境デザインがわかる』
(工学分館 518.8/531 ほか)

『コラージュ・シティ』
(工学分館 080/2/251 ほか)

ハロウィンなるイベントに馴染めずにいます
(恵方巻には慣れた)。聞くとところによると、
ケルト人のお盆=ハロウィンらしく、あの世と
この世の境がなくなる、というのはまさにお盆
ですが、「祖霊だけでなく悪霊も現世に蘇る」
ものらしく、確かに日本版は都合が良すぎるな
と思わないでもない。

文化とは、モノ・コトに意味を見ることかなと
ぼんやり思うことがあって、最近ハマナザシや
風景に興味があります。

というわけで、ランドスケープの特集です。